

令和8年度 事務事業評価シート（1）

〔 令和7年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	介護人材確保・育成支援事業				事業番号	011-102	
担当部署名	健康福祉局	局	長寿社会部	部	長寿支援課	課	

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本 計画2025	施策 との 関連	有・無	戦略	2.人生100年時代の健康・福祉 ～Well-being～	施策	(4)高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現		
		有	取組の方向性	③介護サービスの充実・強化					
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
	堺市SDGs 未来都市計 画 2021-2025	施策 との 関連	有・無	ゴール	—		目標値	—	
			無	取組	—				
		寄与 する KPI	有・無	指標名	—				
			無	現状値	—		目標値	—	

2	関連計画	堺市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画（令和6(2024)～8(2026)年度）		
3	事業開始年度	平成 24 年度	点検対象年度（堺市基本計画2030）	令和 12 年度
4	実施根拠	介護保険法		

事業の概要

5	事業の実施主体	本庁、堺市老人福祉施設部会、関西大学		
6	事業の対象	市内介護事業者	対象数	単位
			3,764	事業所
7	事業の目的	・更なる高齢化を見据え、介護人材の確保及び質の向上を図るため、介護事業者が自律的に職場環境改善及び人材の育成に取り組み、業務の効率化を図ることができるよう支援する。また、福祉と介護の仕事の魅力を高め、それらを発信する。 ・職場環境改善や業務の効率化を行う介護事業所を増やす。また、市内介護事業所への事業周知や学校との連携を図る。		
8	事業内容	①研修の実施 新任期、中堅期、管理期等の課題に応じた研修を行う。 ②さかい福祉と介護の実践発表会の開催 市内の高齢者福祉及び障害者福祉に関わる職員が実践活動や研究活動等の発表を通じてともに学び合い、日々の業務の活力とすること、また、福祉と介護の魅力を社会に発信することを目的に開催。 ③堺市働きやすく魅力あふれる介護事業所等表彰の実施 介護人材の確保及び育成、サービスの質の向上について優れた取組を行っている事業所及び職員を表彰する。		
	※国・府の基準より上回って実施した内容	国や府の提供する介護人材確保策の紹介だけではなく、本市独自の介護人材確保に関する事業を実施している。		
9	主な支出先	株式会社日本教育クリエイト		
10	公民連携・協働事業	事業の一部を堺市と関西大学との地域連携事業にて実施		

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	令和12年度
	さかい福祉と介護の実践発表会参加者数	人	目標値	250	500	500	500
			実績値	511	501		
			達成率	204%	100%		
	当該指標を選定した理由	市内介護事業所への事業周知及び学校との連携の推進が参加者数の増加につながるため、連携の進み具合を測る指標として設定。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度と同程度以上を目標とする。					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和6年度	令和7年度	令和8年度	
	市内事業所向け研修実施回数	回	目標値	—	—	8	
			実績値	8	8		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	市内の事業所向けに、定着支援を目的として研修を実施しているため。					
	目標値の設定根拠・算出方法	前年度と同程度を目標とする。今年度より活動指標の見直しを行ったため、令和6・7年度の目標値は記載なし。					

令和8年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	介護人材確保・育成支援事業	事業番号	011-102
-------	---------------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト					※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。					(単位：千円)				
13	財 源 内 訳	項 目		令和5年度		令和6年度		令和7年度				令和8年度		
				決算		決算		当初予算		決算		当初予算		
		事業費 (a)			1,070		582		908		816		5,058	
		国支出金			412		0		0		0		0	
		府支出金			206		268		424		382		534	
		市債			0		0		0		0		0	
		その他 (第1号保険料)			246		0		0		0		0	
		受益者負担金(使用料、手数料等)			0		0		0		0		0	
一般財源			206		314		484		434		4,524			
14	人件費 (b)			6,840		6,820		7,120		7,120		3,050		
15	年間経費 (c)=(a)+(b)			7,910		7,402		8,028		7,936		8,108		
事業費の内訳												(単位：千円)		
16	事 業 費 内 訳	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	項 目		年度		事業費	うち 一般財源	
				R7	決算	704	352			職員報酬	R7	決算	0	0
		R8	予算					1,000	500					
		報償費	R7	決算	94	69	職員手当	R7	決算	0	0			
			R8	予算	110	77		R8	予算	1,043	1,043			
		需用費 (印刷製本費)	R7	決算	12	7	職員通勤費	R7	決算	0	0			
			R8	予算	0	0		R8	予算	156	156			
		通信運搬費	R7	決算	6	6		R7	決算					
			R8	予算	24	23		R8	予算					
		使用料及び賃借料 (会場等借上料)	R7	決算	0	0		R7	決算					
			R8	予算	35	35		R8	予算					

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費					
17		区 分	単位	令和6年度	令和7年度
	①	さかい福祉と介護の実践発表会参加者数	人	511	501
	②	上記①にかかる年間経費	千円	7,402	7,936
	③	単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	14,485	15,840
算出についての説明等					

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見		
18	令和7年度の福祉と介護の実践発表会では、目標の500人を超える参加者数を確保することができており、単位当たり経費は昨年度と同じ水準で推移している。	
KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）		
19	介護人材の確保及びサービスの質の向上を図るため、介護事業者が自律的に職場環境の改善及び人材の育成に取り組み、業務の効率化を図ることができるよう支援し、また、福祉と介護の仕事の魅力を高め、それらを発信する必要がある。 本事業では、新任期、中堅期、管理期等の階層ごとの課題に応じた研修の実施や、実践発表会、働きやすく魅力あふれる事業所等表彰の実施を通して、介護事業所の支援や福祉と介護の仕事の魅力を発信することで、高齢者が住み慣れた地域で心豊かに暮らし続けられる社会の実現に寄与している。	
20	令和3年度からの実績等を踏まえた事業の必要性・有効性に係る所見（前年度の事務事業評価で点検対象年度を令和7年度とした事業のみ記載）	
	必要性 ■ 高い □ 低い 有効性 ■ 高い □ 低い	本事業は、介護人材の確保及びサービスの質の向上に資する取組として実施している。本事業では、新任期、中堅期、管理期等の階層ごとの課題に応じた研修の実施や、実践発表会、働きやすく魅力あふれる事業所等表彰の実施を通して、介護事業所の支援や福祉と介護の仕事の魅力発信に寄与しており、参加者の満足度も高く、現場ニーズに応じた有効な事業であり、引き続き必要性が高い。